

平成 30 年 11 月

槻の木 クリーンアップ チャレンジ

第 2 回 トイレを考えるミーティング

【開催日時】 平成 30 年 11 月 29 日 午後 3 時 15 分～

【開催場所】 大阪府立槻の木高等学校 応接室

【参加者】

生徒代表	4 名（保健委員長、副委員長他）
保護者代表	4 名（徳田さん、鶴園さん、松浦さん、鈴木さん）
教員	2 名（大西校長先生、荒堀先生）
事務室	2 名（河嶋事務長、上田主査）



【開催概要】

学校の施設整備に関する予算は、決して多くはありません。

厳しい財政状況の中、少ない予算でも学校をきれいにしていく方法はあるはず！と、事務室では平成 28 年度の下期から「クリーンアップチャレンジ」と銘打って、いろいろなことにチャレンジしてきました。

その取り組みの一つとして、昨年（平成 29 年）8 月 22 日に「第 1 回トイレを考えるミーティング」を開催しました。

事務室と生徒、保護者、教員が一堂に会して実施するミーティングは、槻の木高等学校では初めての試みです。（府立学校全体でも例がないかと思えます。）

限られた予算を有効に使い、少しでも使い良いトイレにしたいとの思いで、トイレをどのようにしていけば良いかなどの意見交換を行ったところです。

第 1 回のミーティングの中で、「体育館のトイレが和式しかないので、わざわざ別館の

トイレに行って用を足している。」との声は、それまで「今の生徒は、洋式はお尻が便座に触れるので不衛生で敬遠している。」と考えていた学校側の認識を改めることとなったとともに、体育館のトイレを洋式にすることは、喫緊の課題であることを認識しました。

そのミーティングの内容を知った同窓会が「体育館のトイレは、休日にクラブ指導に行く同窓会会員も良く使う施設、同窓会員のためにもなること」との理解を得て、平成30年1月3日の同窓会総会で体育館トイレの改修費（寄付）として300万円が決定されたところです。

今回のミーティングでは、体育館トイレの改修に生徒、保護者、教員の方々の声を反映できればと考え、みなさんのご意見を伺いました。

【会議での意見】

- 体育館のトイレは暗いので、明るいトイレにしてほしい。（生徒）
- 和式のトイレは、スカートでは非常に使いづらい。（生徒）
- 改修するトイレのドアとパーテーションの色柄は、落ち着いた木目調が良い。（男子生徒）、「明るい色柄が良いのでは」（女子生徒）
- 体育館のトイレには鏡がないので、不便です。（保護者）
- 新館トイレ（乾式トイレ）の床面が、掃除で水を流しても水滴が残る。また、床面の泥のこびり付きについて、掃除をしてもきれいにできない。
- 一部のトイレで、水の流れが弱い。
- 清掃道具が汚い。

【意見を受けて】

- 体育館のトイレは暗い。
⇒トイレ改修に先行して、蛍光灯からLEDに代えました。
- 体育館トイレの改修関係
⇒ドアとパーテーションの色柄をミーティングに参加した生徒に決めてもらいました。
⇒鏡を付けるようにしました。
⇒和式トイレから洋式トイレに改修しました。
- 新館の乾式トイレの関係
⇒乾式トイレは、基本水を流さず清掃しなければいけません。（水が残り、床面に泥がこびり付きます）。
⇒清掃している生徒に上記の清掃方法が伝わっていなかったことが原因の一つと考え、12月13日の職員会議において、「正しい乾式トイレの清掃方法」を生徒の掃除を監督する先生方に説明しました。

- 清掃道具が汚い。

⇒第1回のトイレミーティング以後、清掃道具は優先的に予算措置を行っています。

12月13日の職員会議で再度「古くなった清掃道具は交換してください。」と説明しました。※掃除当番の生徒の皆さんも古くて使えない清掃道具は、申し出てください交換します。

- その他

⇒平成31年3月には、本館2階及び3階のトイレの重点清掃を専門業者に依頼して実施しました。(第1回のトイレミーティングで「一度、専門業者に頼んで徹底的にきれいにできないのでしょうか。」との声を受けて実施しました。：予算措置ができたことから。)

⇒同時に、本館2階及び3階のトイレのブラシは全て新しいものに代えました。

⇒今年度に入って、トイレの清掃用として使い捨てのゴム手袋、床面清掃用のクイックルワイパーを配置しました。

⇒水の流れが弱いトイレについては、学校の貯水タンクからの配管上、一度にたくさんの水を使っている状態の場合に発生することを確認しましたが、解決にはさらに検討が必要です。

以上